

ふれあい 夢 通信

2号

FUREAI YUME TSUUSHIN
子どもを真ん中に、山口県の教育を考える山口県教育庁教育企画室
編集ホットライン TEL0839・33・4531**特集** 子どもの社会参加とボランティア活動

自分を生かし、自分も元気になる活動を見つけてみませんか

ボランティア活動は「人のために何かいいことをすること」と考えている人も多いと思います。しかし、ボランティアの本来の意味は「自らの意志によって、個人がもっている能力を社会に役立てる」ということです。ボランティアは、何も特別なことをするわけではありません。自分のできることに、できる範囲で取り組めばいいのです。

みなさんも、まずは身近なところからボランティアを始めてみてはいかがでしょうか。



ボランティアってどんなこと？

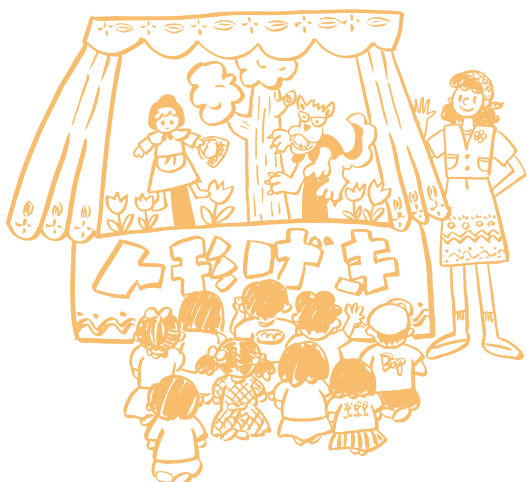
現在、若者の都市への集中や核家族化の進展、孤独な高齢者の増加など、社会の急速な変化にともなう、人々の価値観も多様化し、地域社会が抱える課題も多岐にわたっています。

このような状況の中で、物質的な豊かさよりも、人とのつながりや、心の豊かさが求められるようになり、ボランティア活動に対する意識も高まっています。阪神・淡路大震災のときのように若い人のボランティア志向も決して希薄ではありません。

これまでボランティア活動は、困っている人を助けるという奉仕的な側面だけが強調されてきた傾向があります。しかし、現在では世界平和や国際交流、地域おこしや生涯学習など、あらゆる分野においてボランティアが活躍するようになってきました。

また、ボランティア活動を通して、社会の仕組みや課題について学んだり、活動するために必要な知識や技術を習得したりすることもできます。

「自分の勉強になる」「いろいろな人と出会える」「喜んでもらえる」など、自分なりの楽しみを見つけて、ボランティアに参加する人が少しずつ増えてきているようです。



ふれあいがいっばい

山口中央高校2年
原 路子

皆さん、「アートふる山口」をご存じですか？ これは、山口市の素晴らしさを掘り起こし、広く人々に知ってもらうために、歴史薫る古い街並みの残る一の坂川や堅小路周辺の民家や店舗を「小さな美術館」に見立てて、絵画や美術品等を展示し、一日のんびりと散策しながら鑑賞してもらうイベントです。



真心の通り、手作りの展示場(アートふる山口)

私は、このイベントに、街の名所や史跡を案内する「ハートふるガイド」と呼ばれるボランティアガイドとして参加しました。

私自身は、特にボランティアという意識はありませんでしたが、歴史が好きで興味があったので応募してみました。



昔なつかしい紙芝居「アートふる山口」の1シーン

イベント当日は、来場者に同行して案内をしました。事前に山口の歴史や文化を何度も学習したり、多くの人と知り合うことができたりして、私にとっては素晴らしい社会体験でした。また、機会があればぜひやってみたくと思っています。

思い立ったらまず体験！

山口県立大学4年(社会福祉学部)
大西弘美



高校の時、福祉に少し興味があり、何かしたい、自分の気持ち確かめたいという思いから近くの特別養護老人ホームのボランティアに参加してみました。実際に体験してみて、「人と関わることが楽しい」「またやりたい」という気持ちになったことが進路を選ぶきっかけになりました。



大西さんも一緒に演奏したことがあります
「鳴滝園」のみなさんによる吹奏楽

大学1年の夏の実習では、知的障害者施設に行きました。私は人づきあいが少し苦手だったのですが、いろいろな人が人なつこく話しかけてくださったのですぐにとけこめました。特に、話すのも難しい程の重度の障害を持つ方と親しく交わることができたのは、私にとって忘れられない体験となりました。「助けてあげたい」という気持ちで始めたボランティアですが、そうではなく、今は「仲間として」ともに活動していきたいと思っています。

どんなボランティアがあるの？

ボランティアの領域・分野はさまざまです。日常的に身近なところでできることもたくさんあります。そしてこれらのすべては、ボランティア活動をする人にとっても、楽しいものなのです。みなさんも、その楽しさを「自分のもの」にしてみませんか。



県美展「ワークショップ」でのガイド

美術館や博物館でのガイドをする。
図書館で子どもたちに読み聞かせをする。
地域の文化財のガイドをする。
外国から来た人にまちを案内する。



こんな感じでどうかしら どんぐりの会

まちの「花いっぱい運動」に参加する。
子ども会で自分たちの遊び場をきれいにする。
使用済みの切手を集めて寄付する。
休日に子ども会の世話をする。
地域の祭りなどの伝統文化を若者たちに伝える。



人形づくりもまかせてね! さくらんぼの会

楽しい人形劇

演劇や音楽のサークルなどで、病院や老人ホームを訪問する。
サッカー・水泳などスポーツの指導をする。
手話を習って、耳の不自由な人たちとの交流をする。
ホストファミリーとして留学生を受け入れる。



「平成9年度生涯学習ボランティアの集い大会」より

など、いろいろな活動があります。

出会いと笑顔が 元気のもと

徳山市「どんぐりの会」代表
小林三津子



「どんぐりの会」は、桜木地区のお母さんたちが6年前に始めた手づくりの人形劇団です。老人福祉施設、養護学校、図書館などが訪問先で、毎週木曜日に公民館に集まって公演の準備をしています。

また毎月第2土曜日には、地区の子ども会の人形劇団「さくらんぼの会」の指導もしています。4月には初対面だった子どもたちが人形作りに挑戦し、シナリオ、小道具など、年齢に関係なく自分でできる仕事をするうちに、時にはけんかをしながら、仲間になっていきます。施設訪問や3月の地区内の発表会では子どもがとでも大きく見えます。

温かい拍手をいただくと、子どもの顔が輝きます。その笑顔に私たちはまたうれしくなります。思いやりの気持ちは、小さい時から教育が大切です。大人が変われば子どもも変わると信じています。

ボランティアをしているという意識は特にはありません。面白くて楽しいから続いているのだと思います。時には「きついな」と感じることもありますが、笑顔に出会うとやめられません。自分たちの得意な分野を生かして人形劇を作り上げていく過程が楽しくて、その作品で他の人にも喜んでもらえる。人形は私たちに二度喜びを与えてくれます。

今年度の作品は、「オオカミと七匹の子やぎ」個性豊かな10人の子どもたち、3月に向けて大いにがんばりましょう。

ボランティアを始めてみませんか



時間を見つけて点訳を学ぶ

4

ボランティア三つの提言

**身近なことからやってみよう！
無理をしないで楽しく続けよう！
思いやりと責任をもって参加しよう！**

ボランティア活動は理屈ごとではありません。「こうありがたい」という願いや思いを行動に表す自由な活動ですから、まず参加して体験してみることが大切です。

なかなかボランティアのきっかけがつかみに

くいと思われる方には、「誘われてボランティア」をするのも一つの方法です。

初めてボランティア活動に参加しようと思う人にとって、一番必要なものはボランティアに関する情報でしょう。

情報の入手方法はいろいろあります。県の生涯教育センターのボランティア相談員や、各教育事務所(徳山市)のボランティアコーディネーターが、みなさんのボランティア活動に関する相談や情報提供を行っています。

電話から広がるボランティアの輪！

生涯教育センター
(生涯学習ボランティア相談員)
西山香代子



これからボランティア活動を始めたいという人や、実際に活動をしている人からいろいろな相談を受けています。

このような日々の相談を通して、地域で活動している人との出会いがあり、次第にボランティアの輪が広がっています。



学習情報を届けたい。広報誌づくりの編集委員会

いろいろな相談に応えるためにも絶えず情報の受信と発信を心がけ、私自身も積極的に活動に参加しています。

「喜んでくれる人の笑顔や、ありがとうという言葉がとても励みになります」と、皆さんはボランティア活動の尽きない魅力を話されます。

ボランティアは一步踏み出して、初めてその楽しさや、やりがいがあります。どうぞお気軽に電話してください。





高校生との交流学習

小郡町立上郷小学校

自分たちが学んだことを小学生に教え、伝えたいという山口農業高校の生徒の皆さんの希望を受けて、今年度から上郷小学校の子どもたちが



秋の収穫が楽しみな田植え

高校生と一緒に農作業や畜産業などに汗を流す「交流学習」を始めました。6月の田植えで、上郷小6年の子どもたちが山口農業高校の水田に植えたモチ米の苗は、この秋、立派に成長し、豊かな稲穂を実らせました。10月の稲刈りでは、高校生のお兄さんやお姉さんたちに稲の刈り方のコツを教えてもらったり、刈った稲を丁寧に束ねたりして、収穫を喜び合いました。



刈った稲を束ねる

12月には、収穫した米で餅をつき、高校生の皆さんを招待しての全校集会も計画しているそうです。

自然とふれあい感性をみがく

柳井市立柳井西中学校

毎月1回俳句学習の時間を設け、心静かに17文字と向き合っています。



校内選句会

す。今年で27年目となるこの活動は、日頃つい見過ごしてしまっている自然の小さな変化や生活を見つめる目を養うのに役立っています。

また、2年前から、校庭の隅に地域の人々や保護者の力を借りて「ふるさとの森」を作り、そこに植えられているたくさんの木々を見ながら自然観察や俳句学習をしているそうです。



地域の人々や保護者と一緒に「ふるさとの森」を作る

ドイツの高校生との交流

県立美祢高等学校

7月13日午後、ビスマルク高校のオケストラ25名が秋芳町商工会青年部のお世話により本校を訪れ、演奏会を行いました。生徒は、目の前で演奏される弦楽器の美しい調べにうっとりしました。

また、演奏会の後は、片言の英語に身振り手振りも加えた会話に場内が盛り上がり、ゲームや合唱などで心温まる交流となりました。

今後も機会があれば、諸外国の生

徒たちと音楽だけでなく、スポーツの交流も図り、広い視野を身につけたいとのことでした。



アベマリア(シューベルト)の調べに聴き入る

ふれあい交差点

ニュース募集のお知らせ

ふれあいニュースは、皆さんと一緒に作るページです。あなたの街の国際交流や青少年プロジェクトなど、「ふれあい」をテーマにしたイベントなどをお知らせ下さい。

連絡先
教育企画室
「ふれあい夢通信」編集室

山口県の学校では、こんな国際交流

小学校では

本郷村立本郷小学校 海外に思いをはせて わくわく英語タイム

子どもたちが英語に親しみ、国際理解教育の一助にしようとして、平成9年度から本郷村内の本郷、本谷、波野小学校



ようこそ、アレン先生

では、ゆとりの時間を使って「わくわく英語タイム」を行っています。これは、広島で英会話教室の講師をしているグレッグ・アレンさんが平成7年に波野

小学校を訪問し、児童と交流したことがきっかけで始まったものです。

本郷小学校では、本年度は3回(各学期ごと)各学年ごとに時間を設けています。その中で、簡単な英会話を習ったり、米国での生活について聞いたり、ゲームをしたりして、楽しく英語に親しみます。また、2年生から上の児童は昨年も習っているので、アレンさんとは、友だちのように、とても親しく、積極的に話しかけています。

子どもたちは、「いろいろな英単語がわかっておもしろい」「アレンさんとのゲームが楽しい」「アメリカの話がおもしろい」と、少しずつ興味を引かれ始めています。

学校は、児童の興味がさらに広がるよう、アレンさんと相談しながら内容を工夫していきたいとのこと。



私、何て言ったらいいのかしら?



中学校では

旭村立明木中学校・旭村立佐々並中学校 世界の広さを身近に感じて 中学生中国研修旅行

旭村では、「海外体験を通じて、将来を担う子どもたちの心を世界に開き、見聞を広め、国際平和に貢献できる



はるばる来たぜ、中国へ!

人材育成」を目的として、中学生中国研修旅行が行われています。

今年で3回目となりますが、明木・佐々並中学校の3年生29名が、5月21日から26日までの5泊6日で、北京、済南、上海を回り、山東省師範大学付属

中学校との交流をしたり、万里の長城、故宫博物院や豫園などを見学したり

しました。

生徒たちは、万里の長城の壮大さに感動したり、中国の町並みの雰囲気に興味を引かれたりしました。特に、付属



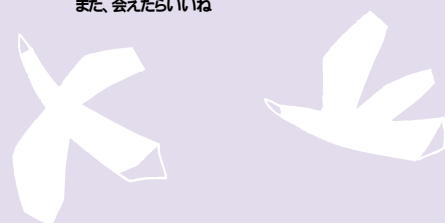
私がお教えいたしましたよう

中学校との交流会では、簡単な英語で話したり、通じない時は筆記や身振り手振りでコミュニケーションを図り、



また、会えたらいいね

時間のたつのも忘れるほど楽しかったようです。そして、全員がこの研修旅行に参加できたことにとっても感謝しているとのことでした。



の取り組みをしています

高校では

県立華陵高等学校 海外での生活を通して自分を振り返る 海外ホームステイ研修

県立華陵高等学校では、毎年夏休みに希望者を募り、約30名の生徒が海外ホームステイを行っています。



こんにちは、日本から来ました!

本年度も、7月17日から8月9日までの24日間アメリカ合衆国ワシントン州シアトル近郊でホームステイ研修が行われました。

この研修では、生徒一人が一家庭に滞在し、現地の教員による授業を受けたり、ボランティア活動を行ったり、文化交流会を催したりして、語学だけでなく、その国の文化や生活にも触れて、多くのことを学んでいるようです。

この研修を振り返って「初めは単語だけで話していたが、最後には1つの文章として話せるようになった」「日本を離れ、アメリカの家庭に滞在したことで、自分自身を見直すきっかけとなった」「日本とは文化の違いもあるが、人としての心は同じであった」等々、それぞれの生徒が感じたようです。



アンケートに答えて下さい



感謝の気持ちを込めて!

同行した教員は、今回の貴重な経験が、「世界で活用できる英語」の学習へ、さらに意欲を燃やす契機になったと、その成果に満足しておられるようでした。



これは、西田くんと、おぼろげに描かれた、さしに描かれた。

ひと言

「めざせ国際人」



防府教育事務所
英語指導助手
Alison j.Ince
(アリソン・インス)
アメリカ合衆国出身

国際社会においては、相手の立場を尊重しながら、自分の考えや意志を表現することが必要です。そのためには、異なる文化や言語に関心をもち、理解することが大切だと思います。私たちは、小学校、中学校、高等学校を訪問して、まず英語圏の国々への関心を高め、英語への学習意欲をもってもらうことを目標としています。特に小学校では、ゲームや簡単な英語を通してコミュニケーション能力の育成を目指しています。

でも、英語を勉強することが直ちに異文化理解につながるものではないということを心に留めておく必要があります。私たち英語指導助手から直接その国の文化について話を聞いたり、イングリッシュサマーセミナーなどで外国人との交流を深めたりする体験も、異文化理解のためには大切なのではないのでしょうか。

1998 1999
 11 1

子どもたちと一緒に参加、見学できるイベント案内

イベントカレンダー

11月14日(土)～11月15日(日)
 レッツウォーク秋往還

県萩青年の家 ☎0838-22-4730

11月21日(土)～11月23日(月)
 土星を見る会

県立博物館 ☎0839-22-0294

11月28日(土)～11月29日(日)
 晩秋の十種ヶ峰

～じねんじょぼりといちごがり～
 県十種ヶ峰青少年野外活動センター
 ☎08395-8-0033

12月12日(土)～12月13日(日)
 萩焼づくり

県萩青年の家 ☎0838-22-4730

12月12日(土)～12月13日(日)
 山小屋パーティーしま専科?

県秋吉台青少年宿泊訓練所
 ☎08376-2-0106

12月12日(土)～12月13日(日)
 親子で楽しむクラフト体験

県光青年の家 ☎0833-72-5512

12月26日(土)～12月27日(日)
 もういくつねるとお正月?!

～餅つき、ミニ門松作り、輪飾り作り～
 県ふれあいパーク ☎0827-63-1513

1月17日(日)
 生涯学習ボランティアの集い大会

県セミナーパーク
 ☎0839-33-4620(県社会教育課)

1月23日(土)～1月24日(日)
 海の幸にカンパイ

県光青年の家 ☎0833-72-5512

1月23日(土)～1月24日(日)
 レクリエーション冬のつどい

県秋吉台青少年宿泊訓練所
 ☎08376-2-0106

読者より

初めまして、小4、年長、年少の子供がいる3児の母です。3人子供がいても長子の場合、何もかも初めてで迷う事ばかりです。下の子達には「お兄ちゃんは ができるから、ちょっとやってみようかな」と楽な気持ちでできるのですが、お兄ちゃんには、どうも過保護になりすぎ、ついつい「お母さんが手伝うね」と言っては、私があれこれしてしまいがちです。そこでキャンプに参加させたのですが、大成功!「自分でやろう」という気持ちが少し強くなって帰って来ました。今度は親子で参加するキャンプにチャレンジしてみたいと思っています。P8のイベント案内、もっともっとお願ひします。

徳山市 小4の母



11月8日(日)
山口県産業教育フェスタ
 ～高校生が学習成果を発表～

小・中学生対象の体験学習コーナーもたくさんあります。ロボット操作やパソコンにチャレンジしてみませんか。

徳山市総合スポーツセンター
 ☎0839-33-4595(県指導課)

11月13日(金)～11月14日(土)
山口県図書館振興大会

県立図書館の書庫探検、点字や本づくり体験、古本市などイベントがいっぱいです。どうぞ家族でおでかけください。

県立図書館
 ☎0839-24-2111



12月25日(金)
プラネタリウム イン セミナーパーク
 ～冬番組「星占いの星たち」冬の星座の見つけ方～

丸いドームの中の星の世界。星たちがあなたを幻想の空間に誘います。冬の日のひとときを楽しみませんか。

県教育研修所
 ☎0839-87-1190

1月16日(土)～1月17日(日)
なつかしの日本の味と技

手打ちうどん作り、和紙作り、和紙アートなど、伝統的な食文化・技能に親しんで、日本の良さを再発見してみませんか。

県石城山青少年宿泊訓練所
 ☎0820-48-2108



1月 9日(土)～1月10日(日)
 1月30日(土)～1月31日(日)
 2月13日(土)～2月14日(日)
白銀はまねくよ!十種ヶ峰

スキー好き好き好きの皆さん、銀白の十種ヶ峰でスキースキースキーとスキー三昧の一日を過ごしてみませんか。

県十種ヶ峰青少年野外活動センター
 ☎08395-8-0033

